

歴史学・考古学の総合研究シンポジウム

石碑から考える三陸の歴史と文化 その魅力

会場

陸前高田市 シンガポールホール

[陸前高田市高田町字栃ヶ沢210番地3]

受付 12:00～

報告会 13:00～16:30

3月20日(金曜日・休日)

上相 英之 氏 (人間文化機構国文学研究資料館)

蝦名 裕一 氏 (東北大学災害科学国際研究所)

テーマ: 「「ひかり拓本」と「ひかり拓本データベース」による
津波碑のアーカイブ」

兼平 賢治 氏 (東海大学文学部)

テーマ: 「岩手の石碑からみる三陸の歴史」

田中 則和 氏 (東北学院大学東北文化研究所)

テーマ: 「南三陸の板碑」

シンポジウム「石碑から考える三陸の歴史と文化」

シンポジスト: 上相英之氏・蝦名裕一氏・兼平賢治氏・田中則和氏

進行: 七海雅人氏 (東北学院大学文学部)

★新型コロナウイルスの感染拡大により、
開催を中止する場合があります。

中止の場合は、日本古代学研究所のサイトに
掲示しますので、事前にご確認願います。

(<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~meikodai/>)

申込不要・入場無料

主催

文部科学省科学研究費助成事業
基盤研究(B)「東北太平洋沿岸地
域の歴史学・考古学的総合研究」

後援

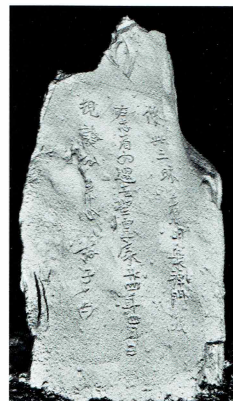
陸前高田市教育委員会

問合せ先

東北学院大学 七海研究室
(電話: 022-721-3267)



陸前高田市小友華蔵寺の海嘯・
赤痢供養碑



南三陸町沢内板碑群
康永4年(1345)板碑